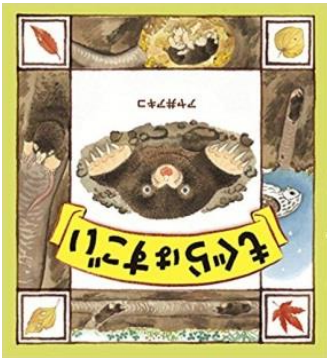


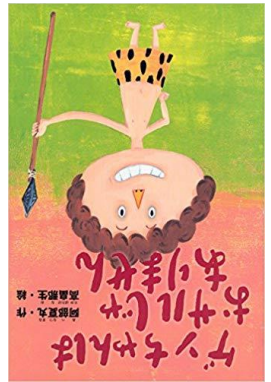
日本にはいろいろなしゆ
 るいものぐらありますが、
 見たことかある人は少ない
 のではないでしょうか。長
 いとんねるをほるひみつ
 や、くらやみでもみずや
 こおろぎをつかまえること
 ができるふしぎなど、なぞ
 が多いもぐらの生活をしま
 うかします。

『もぐらはすこい』
 フヤ井アキコ／著 川田伸一郎／監修
 フリス館



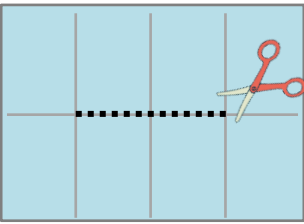
グンちゃんは、げんじ
 ぼつて、お日さまに「うっ
 ぽー！」とあいさつしま
 すが、おサルじやありません
 ん。学校へ行くくとちゆうに、
 みちくさをたっぷりたのし
 みます。きょうは大きな魚
 をつかまえてたべること
 しました。

K913 『グンちゃんはおサルじやありません』
 阿部夏丸／作 高島那生／絵
 講談社



紙を8つにおいて、半分にひろげて
 ね。てん線のところに、ハサミで、
 きりこみをいれて、くみたてれば、
 本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館
 富山市西町5番1号
 電話 076-461-3200
 としょかんのホームページもみてね！



わ く わ く
 本 だ な



2018年
 9月号

1 2 3 年

えほん『まよなかかいぎ』



浜田桂子／作
 理論社

まよなか、ゆうきくんのへや
 で、えんぴつやけしゴムなどのべ
 んきょうどうぐたちが、あつ〜い
 かいぎをひらいています。きょう
 のゆうきくんが、がっこうでどん
 なふうでべんきょうしていたか、
 じゅんばんにはっぴょうするの
 です。

K933 『ふたごのカウボーイ』



フローレンス・スロボドキン／文
 ルイス・スロボドキン／絵
 小宮由／訳 瑞雲舎

ふたごのネッドとドニーは、
 カウボーイになりきって、ぼう
 けんに出かけることにしまし
 ました。しょうてんがいをとおつて、
 おとうさんのはたらいているビル
 に行くのです。どんどんすす
 むうちに、まいごになってしま
 いました。

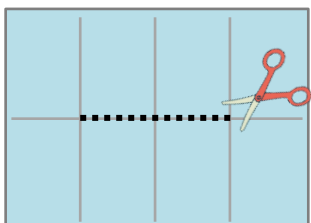
世界には自然が作ったすばらしい景色がたくさんあります。たとえばボリビアのウユ二塩湖は、雨がふると水がうすく広がって、青い空や白い雲をくっきりと映し出すので、「天空の鏡」とよばれます。標高 3700m にあります。大昔は海でした。地面が海水ごと盛り上がり、海水と塩分をふくむ雨水が蒸発して、塩湖ができたのです。

K450 『なぜこうなった?』
あゝの絶景のひみつ』
増田明代／文・構成
山口耕生／監修 講談社



ある日曜日、繭は電柱やカベにかかれた矢じるしをたどって、画材店にたどりつきました。しゃべる人形や、動くはくせいがいる不思議な店です。絵が好きな繭は、日曜日に行われるといふスケッチクラブに参加することにしました。不登校で苦しむ繭は、言葉にできない自分の気持ちを紙にあらわそうと思い、小学校をスケッチすることに決めます。

K913 『日曜日の王国』
日向理恵子／作 サクスマイ／絵
PHP 研究所

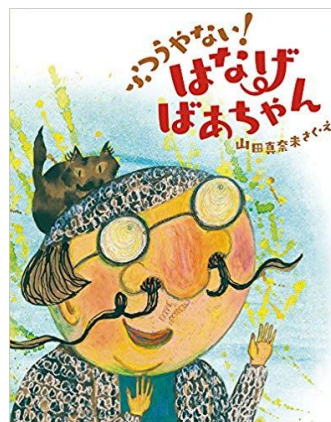


紙を8つにおって、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみだてれば、本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館
富山市西町5番1号
電話 076-461-3200
としょかんのホームページもみてね！



2018年
9月号



K913
『ふつうやない！
はなげばあちゃん』
山田真奈未／さく・え 福音館書店

はなげばあちゃんは、自由自在に鼻毛をのばして、町の人々から食べものをうばうので、みんなからきらわれていました。ところがある日、鼻毛がずっしりと重たくなり、鼻から出たままもどらなくなってしまいました。町いちばんの医者や学者のところへ相談にいけますが、治りません。